

『楽しく遊んで体力づくりに』

体が動くとも心も動く

名和さくらの丘保育園

近年、子どもたちの多様な動きの獲得の遅れや体力、運動機能の低下が指摘されているところです。

名和さくらの丘保育園ではこれまで、「歩育」を中心に自然に触れ五感(視覚・聴覚・触覚・臭覚・味覚)を鍛え、体で学ぶ直接体験を通して「元気なからだ」と豊かな心」を育てる取り組みを続けてきました。その中で、子どもたちは自然に触れ、探索活動を楽しみながら長い距離でもしっかりと歩けるたくましい力がつ



▲「しっぽ」を目標におにごっこを楽しむ2歳児

いてきました。

そこで、今年度、注目したのが子どもたちの大好きな遊びのひとつの「おにごっこ」です。

「追いかける」「逃げる」だけの単純な遊びの中に、まっすぐ走る、ジグザグに走る、障害物をよけながら走る、急に止まる、方向転換するなど、いろいろな動作があり、まさに全身運動。同時に瞬発力・持久力も身に付きます。

そして、幼児期は運動能力だけでなく社会性の基礎を養う大切な時期です。多くの友だちと関わりながら「おにごっこ」を通してルールを守り、感情をコントロールしコミュニケーションを取り合いながら協調性、協働性を学んで欲しいと思います。

今年度は、歩育の中で「妙見山」「鋸戸山」など町内の山登りを体験して、最終的に年長児は大山の三合目までチャレンジをしようと考えています。

ダイセンミツバツツジを見よう！

佐摩山登山に48人挑戦

大山公民館大山分館とまちづくり大山との共催で「ダイセンミツバツツジウォーク(佐摩山登山)」が、4月29日に行われました。大山自然観察員でもある鷺見寛幸教育長を講師に、参加者48人が佐摩山登山を楽しみました。

まちづくり大山では地域の魅力を再発見する取り組みを進めています。その中で、大山地区が一望できる佐摩山(標高612m)への登山

ルートと、佐摩山から孝霊山への登山ルートの整備に取り組んでいきます。

中でも「ダイセンミツバツツジ」は貴重な植物で、佐摩山の頂上付近から孝霊山まで群生しており、花が咲く時期に登ろうと昨年から大山分館と合同で計画していました。

事前にまちづくり大山が、階段を設置したり登坂用ロープをつけたりするなどして登山ルートの整備に汗を流しました。登山道は急な坂ですが、登りやすくなり参加者全員が登りきることができました。残念ながら「ダイセンミツバツツジ」は2分咲き。参加者からは「ぜひ来年も」と声があがりました。



▲参加者の皆さん



ダイセンミツバツツジ